

第三十五回
又兵衛の手水鉢

正光寺境内（伝法寺）には黒田二十四騎の一人「後藤又兵衛基次（ごとうまたべえもつぐ）」が自ら作ったと伝えられる手水鉢が残っています。

後藤又兵衛は永禄三年（一五六〇）播磨国姫路近郊で生まれ、幼くして両親を亡くしたため、父親の友人 黒田官兵衛に引き取られ養育されました。
『黒田家譜』によると宇留津城攻めの際には母里太兵衛等と並んで又兵衛も戦いに加わったことが書かれており、これ以後頻りに又兵衛の名前が同文献上に見られるようになります。

関ヶ原の合戦後、主君の黒田長政は筑前名島に五十二万三千石を得て福岡藩初代藩主となり、又兵衛も武功を認められ益富城（嘉麻市嘉穂町）一万六千石の所領を与えられます。

しかし、慶長十一年（一六〇六）黒田家を出奔。出奔の原因は諸説あり定かではありませんが、これ以降、豊前国の細川氏に身を寄せたのを皮切りに、福島正則、前田利長、池田輝政、結城秀康等に召し抱えられながら各地を転々とし、慶長十六年（一六一一）からは京都で浪人生活を送ることを余儀なくされます。このように各地を流転せざるを得なかったのは、又兵衛の行く先々に黒田長政



後藤又兵衛自作と伝えられている手水鉢
(宇都宮氏の持仏堂「正光寺」境内)

が「奉公構（ほうこうかまえ）」の措置を取ったことにより、奉公構は出奔した家臣を他家が召し抱えないように釘を刺す回状のことで武士階級においては切腹に次ぐ重い刑罰です。
こうして各地を流転した後、大阪の役が勃発すると豊臣方として活躍します。そして慶長二十年（一六一五）、大阪夏の陣にて死去しました（享年五十六歳）。
又兵衛に関連する史跡や伝説は西日本各地に残っています。これは又兵衛が各地を流浪する後半生を送ったことに関係しているのでしょうか。
築上町伝法寺にはかつて又兵衛が滞っていたと言いつた場所がある「後藤屋敷」と呼ばれる場所があります。正光寺境内の手水鉢はそこに滞っていた又兵衛が宇都宮鎮房を偲んで彫ったと言いつたられています。
(文化財保護係 馬場克幸)

NPO法人しいだコミュニティ倶楽部からのお知らせ

第9回 豊前中津の音頭大会に出演

5月25日中津リドルームで開催され、しいコミ健康ダンスから17名のメンバーが「築上町音頭」を踊り、指導員の新先生が、黒田官兵衛にゆかりのある「今様黒田節」を優雅に舞いました。



日奈古グラウンド草刈り

5月31日参加者約70名
今年も無事終了しました。皆様のご協力に感謝いたします。
ありがとうございました！

Sport(スポーツ)

第15回 築上町一般男子対抗町民ソフトボール大会結果

優勝 インターフローレンス、準優勝 越路ブルズ、バッド・ボーイズ



築上町民ゴルフ大会2014結果



・総合の部 優勝 穴井 博史
準優勝 小野 雅之
3位 松本 鹿助
・女性の部 優勝 森 敬子
準優勝 穴井寿々代
3位 村上 久美

メタセの杜パークゴルフ協会「第7回水無月大会」結果

・Aパート 優勝 伊藤 泰彦
準優勝 吉元三千穂
3位 安成 元子
・Bパート 優勝 伊崎 信幸
準優勝 正野 秋郎
3位 中園 昭一

